国際ロータリー　第 2500 地区　第 8 分区　　JAPAN CHARTERED

弟子屈ロータリークラブ会報

2010～2011年度　RIテーマ

地域を育み 大陸をつなぐ

RI 会長：レイ・クリンギンスミス　　2500 地区ガバナー：柴田　和明

【2010-2011 年度　弟子屈 RC 理事・役員】

●会長（理事）今井善昭　●直前会長（理事）今井正蔵　●会長エレクト（理事）小林寿男　●副会長（理事）木暮敏男
●幹事（理事）桐木茂雄　●会計（理事）伊藤幸雄　●会場監督（理事）小家山勝　●職業奉仕（理事）筒井庄一
●社会奉仕（理事）鈴木幸栄　●国際奉仕（理事）竹森英彦　＊地区　●会員増強委員　今井正蔵

2011 年 4 月 13 日(水)　本年度 第 39 回　通算 2691 回　例会

- 開会点鐘(12:30)
- ロータリーソング
  奉仕の理想
- 食事
- 会長報告
- 幹事報告
- 委員会報告
- 本日のプログラム
- 寄付報告
- 出席報告
- 閉会点鐘(13:30)

徳永町長の卓話

【会長報告】徳永町長、お忙しいところありがとうございます。町長も以前は６年間ほど当クラブに在籍されていて、ロータリーの心はよく知っていることと思います。私もロータリー歴、通算で１０年ですが、この町に定住して６年、最近は忙しく走り回りミクロの世界です。今日は町長の話で、久しくマクロの目線に戻ってみようと思います。エコ町推進協議会では、大震災の救済プロジェクトで、被災地に弟子屈ジャガイモを送りました。また、その他の物資も送る計画です。これには、予想以上に送料がかかるので、皆さんに「YUI の募金箱」を用意したのでよろしくお願いします。

【幹事報告】竹森幹事代行～回覧・厚岸 RC より会報・本日のゲストの紹介。救済プロジェクトの件,釧路新聞に掲載された。**次週、理事会**

釧路新聞・山本標茶支局長

『本日のプログラム』徳永町長の卓話～「本町の人口の推移と町政運営の概要」／RC・四つのテストより「町民のためになるかどうか」

弟子屈町の人口はこの１０年で約 1,000 名減って３月末で 8,248 名である。うち、30.7%にあたる 2,532 名が 65 歳以上の高齢者で、子どもの出生も 60 人きってしまうので、子育てのしやすい町にする必要がある。この度の大震災の影響も大きい。本町の牛乳の搬出ルートの茨城県・大洗港が被害を受け、東京の品川に変更になった。また、観光においても町内の宿泊施設やレストハウスの売上が激減している。震災支援金も 500 万円くらいの予算で、物資や見舞金を送った。また、人材も、北部消防、保健士、土木、一般事務関係を数名ずつ派遣した。観光面での対策として、行政あげての各エージェントや学校訪問を行ってる。23 年度の町政運営で主なものに、昨年度の中学校校舎・屋体の改築に続き、学校給食センターの改築と「道の駅整備事業」を国土交通省のまちつくり交付金の活用で施工する。防災の拠点としても★★おおいに活用されると思う。道の駅は、旧ヨーロッパ民芸館を泉源付きで 4,300 万円で購入し、一部を国に買いあげてもらい、町の持出しは、300 万円くらいで済んだ。館内もトイレも温泉暖房で足湯もあり、あとは、運営体制や物販関係を取り決め、７月オープンができそうだ。総務費予算では、花いっぱい運動を実施し観光客などに、おもてなしの街を提供する。また、24 年には戸籍電子化業務に切り替えバックアップを万全にするのと、民生費では子ども手当の予算を増額した。以下云々、ご協力宜しくお願いします。

Yui の募金箱

本日の昼食は「生チラシ」

本日の寄付

ニコニコ--¥4,000

寄付コメント

池田会員～入会して１年がたちました。今後もよろしくお願いします。

今井会長～町長、卓話ありがとうございました。

出席報告(田中会員)

会員数----19 名
出席数----13 名
出席率-----68,4%

責任編集　弟子屈 RC 会報委員会　　会報委員長　木暮敏男　　委員　竹森英彦